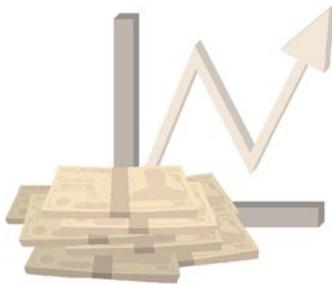


# 経済

## Economy

今だ先の見えない世界的不況の中、パースの経済的将来性の一面を見てみましょう。



### GDP<sup>※1</sup> 成長予想ランキング (2012年)

調査元：ジョーンズ ラング ラサール (商用不動産管理・投資サービスのグローバル企業)

順位	都市名	国名	予想成長率 <sup>※2</sup>
1	ブリスベン	オーストラリア	4.9
2	シンガポール	シンガポール	4.6
3	オースティン	アメリカ	4.3
4	香港	中国	4.2
5	ローリー・ダーラム	アメリカ	3.9
6	ソルトレイクシティ	アメリカ	3.7
6	オーランド	アメリカ	3.7
6	パース	オーストラリア	3.7
6	フェニックス	アメリカ	3.7
6	ダラス	アメリカ	3.7

調査対象 世界で人口 100 万人以上の都市

調査方法 2012 年から 2020 年までの GDP 成長率を予想

※1：GDP (Gross Domestic Product) とは、一般的には、一定期間内に国内で産み出された付加価値の総額を表す国内総生産を指しますが、ここでは都市圏内の総生産を指します。

※2：ジョーンズ ラング ラサールが制作したグラフから当社が導き出した数字です。

パースの良い点で2位という独自アンケート結果だったのが経済です。現在、パースの経済は好調だと言われますが、ランキングのGDP成長率予想率を見る限り、パースは6位にランクされているので、天然資源に支えられた産業は好調を維持し、まだまだこれからも好景気が続くと予想された結果でしょう。

**コラム** 2009年にアメリカの経済誌「フォーブス」が発表した、驚異的な発展速度で急成長を遂げている「未来世界の10大都市候補」にパースが、オセアニア地域で唯一エントリーされています。

# 物価

## Cost of Living

物価は最も気になる指標の一つ。現在のパースの状況は、どうなのでしょう。



### 世界生計費調査 (2012年)

調査元：マーサー (米人事コンサルティング会社)

順位	都市名	国名	前回順位
1	東京	日本	2
2	ルアンダ	アンゴラ	1
3	大阪	日本	6
4	モスクワ	ロシア	4
5	ジュネーブ	スイス	5
10	名古屋	日本	11
11	シドニー	オーストラリア	14
15	メルボルン	オーストラリア	21
19	パース	オーストラリア	30
23	キャンベラ	オーストラリア	34
24	ブリスベン	オーストラリア	31
27	アデレード	オーストラリア	46

調査対象 調査元選出の世界主要 214 都市

調査方法 交通費、食料、衣料、家庭用品、娯楽費用を含む 200 以上の品目で算出

パースの物価は、独自アンケート結果の悪い点で1位だったことから、非常に高いと思われるようです。ランキングでは、オーストラリアドルの上昇の影響などから、パースは去年の30位から順位を11ランク上げ19位、オーストラリアの他都市も去年よりも順位を上げています。ただ、東京や大阪、名古屋などはパースより上位にランクされています。昨今、パースは日本よりも物価が高いように思われますが、ランキングを見る限りでは、東京や大阪など日本の都市から比べればまだ安いようです。

**コラム** 英国雑誌の調査機関「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」が、世界131都市の160品目の商品やサービスなどを対象として発表した「世界生活費調査報告」では、パースは12位にランクされています。